

みんなでトライ！公民館等職員必要課題研修

～必要課題を認識する力を磨き実践に生かす～

R8.9.17(木)：いわみーる

【講義①】安心して暮らし続けるために、いまできること

【講師】島根県中山間地域研究センター 主任研究員 東 良太さん

日本100年間の4大変化

- 変化① **人口 (数)** …地域で暮らしている人の数が減った
- 変化② **年齢構成 (中身)** …若い人が減って、お年寄りが増えた
- 変化③ **世帯 ≠ (家族)** …多世代同居が減って、世帯が小さくなった
- 変化④ **地域社会 (空間)** …移動手段が増えて、行動範囲が広がった

※「島根県の現状」をデータからみる！

さまざまな「課題」をどう捉えるか

- ・◎「課題認識する力」
- ・△「課題設定する力」
- ・×「課題解決する力」
- ・自分たちだけで解決しようと思わなくていい

※まずは「地域のことを教えてください」を出発点にする。

なぜ「根拠」が必要となるのか

- ・根拠があると説明力が上がり、次の一手がみえてくる
- ・根拠があれば、企画や予算の相談場面で話を通しやすくなる
- ・根拠は、住民に「他人事」ではなく「自分事」として伝わる説明材料になる
- ・根拠があるからこそ、自分自身の思い込みや勘違いにも気づける

EBPMの考え方を活用したワークシートのステップ

- ① **事実**：データから読み取れる客観的な数字
- ② **意味すること**：増えている/減っている
他と比べてどうか
- ③ **必要課題（仮説）**：①②から考えられること
- ④ **根拠**：③を裏づけるデータ・数値

4つの視点で地域を捉える

-  **鳥の目**：集落・地域を上から広く見渡す
(全体をつかむ)
-  **虫の目**：暮らし・営みを間近でよく見る
(詳細をつかむ)
-  **魚の目**：人口や担い手の流れ・変化を見る
(流れをつかむ)
-  **コウモリの目**：あえて逆さま反対から見てみる

講義資料より

【演習①】モデル地区のデータを分析しよう！

横田地区を分析しよう

■横田地区のデータをもとに、グループで分析し、ワークシートに記入する



横田地区について

- ・横田地区は、町内でも人口規模の大きい地区
- ・高齢化率は町内の他地区と比べて最も低い水準
- ・人口減少率も、町内で最も緩やかな地区

【事例紹介】事例から読み解く必要課題の認識

数字だけ見ると「人口が多いから安心」に見えるけど・・・

- ・人口規模が大きいと、むしろ住民同士のつながりは薄くなりやすい
- ・大きい地区ほど、「誰がどこにいるか」を把握しにくい



見えている数字と、実際の暮らし（地域の声）は、同じとは限らない

- ・災害時の対応・名簿管理が自治会長一人に集中している
- ・自治会未加入世帯・一人暮らし世帯の安否確認が難しい（災害時の対応）

■人口データだけ見ると、気づけなかった**必要課題**があった

■量的なモノサシ（データ）だけでなく、質的な把握（聞き取り）も必要

【演習②】自分の地域を分析しよう！

■パソコンやスマホ等を用いて、「しまねの郷づくり応援サイト」にアクセスし、個人で分析、整理し、ワークシートに記入する



【演習③】分析結果を伝え合おう！

■分析結果をグループ内で共有



■「話してみたいこと」「やってみたいこと」などをキーワードで記入し共有



- ・これまでの事業の見直し
 - ・いろいろな世代の声をもっと聞く
- ・未来について話す場づくり
 - ・「今できること」に目をむける
- ・中学生、高校生とつながる
 - ・防災目線で各世帯の状況の把握
- ・データの読みとり



【アンケートから】

- ・数値を使った分析で地域を考える発想がなかったので、とても参考になりました。
- ・今までデータを根拠に地域の状況を話すことがなかったので、今後、会議等で話すのに役立ちそうだと思います。職場に帰って共有します。
- ・データ分析、そこから見えてくるものと見えないものに対して、どのように対応していくか、地域の皆さんと一緒に取組んでいきたいと思います。
- ・今まで人口、高齢化率といった数字はよく目にしてましたが、応援サイトのことは知らず…数字で見る説得力は実感しました。



全体で共有